

Vol.
12

東京大学新図書館計画
トークイベント



「曖昧さ」について
『「ボヴァリー夫人」論』を例として

蓮實重彦

名誉教授講演会

2015年3月20日(金)
14:00—16:00
(13:30 受付開始)

会場: 東京大学本郷キャンパス
総合図書館1F 洋雑誌閲覧室

いかなる歴史的な時代においても、人類は「長編小説」の普遍的な形式を定義したことはない。「散文のフィクション」といいかえても、事態は混乱するばかりである。西欧伝来の「詩学」も「美学」も「修辞学」も、それを定義しそびれている。『ボヴァリー夫人』は、意識してこうした定義の不在と向きあった最初の——ことによったら最後の——作品である。そのことの歴史的な意味を明かしてみたい。

(蓮實重彦)

USTREAMにて同時中継決定

会場での聴講は定員に達したため受付終了しております ぜひストリーミングでご覧ください

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/2585>



公式ツイッター: @UTokyoNewLib

主催: 東京大学 附属図書館 新図書館計画推進室 (企画運営: 東京大学附属図書館 新図書館計画推進室 職員課題検討グループ)

東京大学附属図書館では、現在進行中の新図書館計画に関連するトークイベントや企画展示を、シリーズで開催しています。お問合せ: E-mail: ac-info@lib.u-tokyo.ac.jp TEL: 03-5841-2613